

## 第3章

# 施策2 基本事業4

評価対象年度	令和6年度	事務事業評価シート			作成日 点検日	令和7年 年	6月 月	6日 日
事務事業名	各種団体補助事業			事業類型	補助金			
担当部課G等	保健福祉部 介護長寿課		高齢者支援G	記入者氏名				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第3章 やさしさにあふれ生きがいの持てるまちづくり					■ 実施計画 対象事業
	施策名		2 高齢者がいきいきと暮らせる環境を整える					
	基本事業名		4 生きがいづくりの支援					
予算科目	一般会計	款 03	項 01	目 02	事業名 各種団体補助事業	根拠法令	高齢者等の雇用の安定に関する法律第 41条 那珂市高齢者クラブ助成事業費補 助金交付要項	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)		
事業概要	【全体概要】 【業務内容】							

事業概要

**【全体概要】**  
自主・自立・協働を理念とし、高齢者が働くことにより生きがいや地域づくりに貢献することを目的とした公益社団法人シルバーハウスセンターへ補助を行う。

また、高齢者クラブ連合会と単位高齢者クラブに補助金を交付し、高齢者の生きがいと健康づくりを支援する。

【業務内容】  
シルバー人材センター、高齢者クラブ連合会、単位高齢者クラブに補助金を交付する。

## 1 現状把握の部(DOシート)

(4)前回(令和5年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		(見直し内容に関する予算への反映)	
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 高齢者クラブについては、高ク連により発行、補助金の手引きを作成し、活動内容を周知するとともに活動参画への推進を図った。シルバー人材センターについては、社会福祉協議会主催の研修会へ受講を促すとともに、社会福祉協議会が発行しているセカンドライフなかにおいて、情報の発信を図った。	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） <input checked="" type="checkbox"/> 増加(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

## 2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①市閥与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■妥当である 高齢者の生活を健全で豊かなものとする一助となる高齢者クラブ及びシルバー人材センターの円滑な運営を支援することで、高齢者の生きがいにつながる活動や就業の機会の創出につながることから、市の閥与は妥当である。	□見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
	②成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていませんか？●対象者が一部の対象者に限定されていますいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	□余地がない 高齢者クラブについては、定年の延長や高齢化などにより会員数の伸び悩みや休会になるクラブも見られることから、高齢者クラブが果たす社会的役割や活動の魅力などについて積極的に周知する必要がある。	■余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
	③類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありませんか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	■統廃合の余地がない ■廃止・休止の可能性がない 廃止・休止すれば、高齢者クラブの活動が縮小され、生きがいにつながる活動が減少するとともに、シルバー人材センターの円滑な運営確保も困難になることから、継続して支援すべきである。また、他に同様の事業がないため統廃合の余地はない。	□統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) □廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
	④事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にすぐれない支出はありませんか？	■事業費の削減余地がない ■人件費の削減余地がない 事業費を削減すると、高齢者クラブの積極的な活動が困難になるため難しい。人件費については、各団体が自主運営しており職員の関わりは最小限なので削減の余地はない。	□事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) □人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
	⑤受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が高い事業の場合、その理由はなんですか？	■適正である □受益者負担を求める事業ではない 高齢者クラブ、シルバー人材センターとともに会費を徴収し、活動費に充てている。高齢者クラブについては、市補助金を社会奉仕事業や健康増進事業に充当し、シルバー人材センターについては、運営費の一部に充当しているため、受益者の負担は適切である。	□見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)

## 3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載										
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">□ 目的の再設定</div> <div style="margin: 0 10px;">■ 有効性の改善</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">□ 効率性の改善</div> </div> <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	改革・改善による期待成果										
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 高齢者クラブについては、設立クラブの廃止による会員減少を防ぐため、市HPや高齢者クラブ連合会の会報を通じて、引き続き活動の紹介と活動内容の周知を行う。また、社会福祉協議会と連携しクラブを設立する際に補助金の手引きを利用した支援や周知を行っていく。シルバー人材センターについては、社会福祉協議会主催の研修受講を促し、働く意欲のある高齢者が生きがいのある生活が送れるよう支援していく。	<table border="1" style="width: 100px; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th>○</th> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成 果	コスト			削減	維持	増加	○		
成 果	コスト										
	削減		維持	増加							
	○										
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載										
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )	改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 高齢者クラブについては、設立クラブの廃止等による会員減少を防ぐため、市HPや高齢者クラブ連合会の会報を通じて、引き続き活動の紹介と活動内容の周知を行う。また、社会福祉協議会と連携しクラブ立ち上げの支援を行っていく。シルバー人材センターについては、人材確保のため高齢者等に社会福祉協議会主催の研修受講を促すとともに、働く意欲のある高齢者が生きがいのある生活が送れるよう支援していく。										
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )										
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )										

評価対象年度	令和6年	年度	事務事業評価シート			作成日 点検日	令和7年 年	6月 月	6日 日			
事務事業名	敬老事業					事業類型	事業の推進					
担当部課G等	保健福祉部 介護長寿課			高齢者支援G		記入者氏名						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第3章 やさしさにあふれ生きがいの持てるまちづくり					■ 實施計画 対象事業				
	施策名		2 高齢者がいきいきと暮らせる環境を整える									
	基本事業名		4 生きがいづくりの支援									
予算科目	一般会計	款 03	項 01	目 02	事業名 敬老事業	根拠法令	・老人福祉法・那珂市敬老行事補助金交付要綱					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)					
事業概要												
【全体概要】 多年にわたり社会に貢献してきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに地域住民の敬老意識の高揚を図るため、75歳以上の高齢者の長寿を祝う敬老行事を実施する者に対し、補助金または敬老記念品を交付する。 また、100歳達成者の自宅を市長が訪問し、記念品を贈呈し紀寿を祝う。88歳達成者は、まちづくり委員会から記念品を贈呈し米寿を祝う。					【業務内容】 ・敬老行事開催に対する補助金交付についての説明会を開催。 ・補助金申請書を審査、支払い業務を行う。 ・次年度に向けての反省会及び実績報告確認。							
1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移							単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)									
市内在住で当該年度75歳以上の高齢者。			当該年度75歳以上の高齢者数			人	10051.	10406.	10749.	11071.	11403.	
			100歳達成者数			人	26.	34.	29.	29.	29.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
各地区ごとに開催する敬老行事に対し、補助金(開催補助・運営補助等)を交付する。また、100歳達成者宅を市長が訪問し、記念品を贈呈し紀寿を祝う。 敬老行事は令和4年度までは各地区まちづくり委員会で事業を選択し、実施していたが、令和5年度からは各自治会でも事業の選択、実施が可能とした。令和6年度からは、記念品の市による一括購入も選択できることとした。			敬老会開催自治会数			自治会	18.	9.	8.	8.	8.	
			敬老記念品配布自治会数			自治会	50.	59.	60.	60.	60.	
			地区まちづくり委員会への補助金			千円	11084.	11930.	10682.	12485.	12834.	
			100歳達成者の市長訪問者数			人	12.	34.	29.	29.	29.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)									
社会のために貢献してきた高齢者の方々の長寿を祝うとともに、健康長寿への意欲を高めてもらう。			敬老会参加者数			人	553.	339.	348.	358.	369.	
			敬老会参加率(敬老会開催地区のみ)			%	19.6	21.6	23.8	24.5	25.2	
			敬老記念品配布人数			人	7231.	8837.	9286.	9610.	9939.	
			生きがいを持っている高齢者の割合			%	85.9	84.9	90.	91.	92.	
(2)投入量の推移		単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)		総事業費			
事業費 内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0		0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0		0			
	その他の 一般財源	千円	699	961	0	0	0		0			
	事業費計(A)	千円	11,997	11,019	14,863	15,594	16,330		0			
	人件費計(B)	千円	1,190	0.20人	1,510	0.30人	880	0.15人	880	0.15人	880	
投入量(A)+(B)	千円	13,886		13,490		15,743		16,474		17,210		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			多年にわたり社会に貢献してきた75歳以上の高齢者を敬愛し、その長寿を祝うとともに、地域住民の敬老意識の高揚を図るため、本事業を実施することになった。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか？開始時期と比べてどう変わりましたか？)			高齢化の進展により、対象者は年々増加。合併を機に敬老会を市主催から地区ごとに開催するようになった。高齢化の進展とともに、招待者を65歳、70歳、75歳以上と引き上げてきたが、敬老会の出席率は減少している。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？)			まちづくり委員会より、補助金の増額、自治会未加入者の対応はできないとの要望がある。議員や監査委員より、効果的で効率的な方法を模索するとともに、福祉向上に寄与する事業への振替も検討するよう意見がある。									

(4)前回(令和5年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 (前回評価結果を踏まえて見直した内容) 毎年、敬老行事反省会において、地区まちづくり委員会や自治会の要望・課題等を聞き取っており、要望のあった記念品の購入方式を改善しました。	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費）  ■反映なし

## 2 評価の部(SEE)\*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①市閥与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■妥当である 老人福祉法第5条第3項に、「国及び地方公共団体は、老人週間において老人の団体その他の者によってその趣旨にふさわしい行事が実施されるよう奨励しなければならない」と規定されており、市の閥与は妥当である。
	②成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていませんか？●一部の対象者に限定されてしまいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない  ■余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 敬老行事反省会において、まちづくり委員会と自治会から負担が大きいなどの意見がでできている。また、75歳以上の高齢者が増加する中で、敬老会への出席率は年々減少していることから、敬老行事の実施方法については検討が必要である。
有効性評価	③類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものがありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない  ■統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 敬老行事検討会において、敬老行事は敬老会開催事業又は敬老記念品配布事業として、今後も継続していくこととなったので、活動の廃止の余地はない。また、類似事業もないため、事業の統廃合の余地はない。
	④事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない  ■事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費については、敬老行事の実施方法を見直すことにより削減の余地がある。人件費については、必要最小限の人員で取り組んでいるため、削減の余地はない。
公平性評価	⑤受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> ■受益者負担を求める事業ではない  ■受益者負担を求める事業ではない 敬老事業は、多年にわたり社会に貢献してきた高齢者を敬愛し、その長寿を祝うこと等を目的としていることから、高齢者に負担を求める事業ではない。

## 3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 ■ 継続 → ■見直し(改革・改善) → [ <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公公平性の改善  → <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)  改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 対象者である75歳以上の高齢者が増加する中で、地区まちづくり委員会や自治会の扱い手不足、自治会未加入者の増加の懸念があり、負担を減らすための実施方法や事業のあり方について検討する必要がある。	■有効性の改善    ■効率性の改善																			
	改革・改善による期待成果  <table border="1"><tr><th rowspan="2">成 果</th><th colspan="3">コス</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th>向 上</th><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><th>維 持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低 下</th><td></td><td>XX</td><td>XX</td></tr></table>	成 果	コス			削減	維持	増加	向 上	○			維 持				低 下		XX	XX
成 果	コス																			
	削減	維持	増加																	
向 上	○																			
維 持																				
低 下		XX	XX																	
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載  □終了    □廃止    □休止    □統廃合    ■ 継続 ( ■見直し    □現状維持 )  改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 対象者である75歳以上の高齢者が増加しており、事業実施の負担が大きくなっている。地区まちづくり委員会や自治会の扱い手不足、自治会未加入者の増加の懸念があり、負担を減らすための実施方法や事業のあり方について検討する必要がある。																			
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																			
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																			